

当院のシンボルマークは、患者さまに対する「まごころ」を漢字の「心」で表現しています。

# まごころ

MAGOKORO



地方独立行政法人

## 下関市立市民病院

SHIMONOSEKI CITY HOSPITAL

2026年 vol.52



▲合意締結式では地域医療機能推進機構山本理事長（写真左）、前田市長（写真中央）、当院田中理事長が基本合意書に署名しました。

### 特集 下関市立市民病院と下関医療センターの 統合に係る基本合意締結式について

お知らせ 医療安全・感染合同キャンペーン入賞作品発表 ほかも

もっと知りたい がん薬物療法認定看護師

地域の絆 腎泌尿器科はらクリニック

光風園病院

2026.3.1 下関市立市民病院広報年報委員会発行

下関市立市民病院

#### 基本理念

安心の優しい医療を提供し、  
市民から信頼される病院を目指します

#### 基本方針

- 市民のニーズに応じた最善の医療を提供します。
- 重点診療項目として、悪性疾患、救急及び生活習慣病に取り組みます。
- 安定した健全な病院経営を目指します。



# 下関市立市民病院と下関医療センターの 統合に係る基本合意書 締結式について

## 統合に係る基本合意

2026年3月4日、下関市役所において、下関医療センターと下関市立市民病院の統合に係る基本合意書締結式が行われました。

締結式には下関市の前田晋太郎市長と、下関医療センターを運営するJCHO（独立行政法人地域医療機能推進機構）の山本修一理事長、当院の田中雅夫理事長が出席しました。

締結式では、合意概要の説明が行われた後、基本合意書に署名が行われました。

新病院は下関市が市有地（JR幡生操車場跡地）に建設し、新病院の運営は、市が設置する地方独立行政法人が担うこととなりました。

また、合意文書には両病院が担ってきた医療機能を提供することを基本にすることや、両病院の職員は希望すれば、原則全員新病院で勤務できるように必要な措置を講じることなどがあげられています。



▲当日取材に来たマスコミのインタビューに答える田中理事長



▲合意概要の説明後に基本合意書に署名。(写真左より山本理事長、前田市長、田中理事長)

下関市立市民病院と下関医療センターの統合に係る基本合意書

下関市（以下「甲」という。）、独立行政法人地域医療機能推進機構（以下「乙」という。）及び地方独立行政法人下関市立市民病院（以下「丙」という。）は、乙が設置している下関医療センター及び丙が設置している下関市立市民病院（以下「両病院」という。）について、甲、乙及び丙の三者間で協議した結果、両病院の統合について次のとおり合意した。

（統合の目的）

第1条 甲、乙及び丙は、下関医療圏地域医療構想調整会議「第2次中間報告」を踏まえ、進捗時期を迎える両病院を統合し、医療機能の集約と病床規模の適正化を図ることで、安定的な医療従事者の確保と救急医療提供体制の強化を実現する。

（統合の内容）

第2条 乙及び丙は、両病院を甲が建設する病院（以下「新病院」という。）に統合する。

2 新病院は、可能な限り早期の開業を目指す。

（新病院の運営）

第3条 新病院の運営は、甲が設置する地方独立行政法人が担うこととする。

2 前項の運営においては、両病院の医師をはじめとする医療従事者が一体となって行うものとする。

（新病院の場所）

第4条 新病院を建設する場所は、交通アクセス、早期開業の実現性等を考慮し、下関市幡生新町とする。

（新病院の機能）

第5条 両病院が担ってきた医療を引き継ぎ提供することを基本としながら、他の医療機関との役割分担、連携強化も踏まえ、下関医療圏における急性期医療を担う医療機関として必要な機能の充実を図る。

2 新病院の主な医療機能は、公的医療機関が担うべき5疾病のうち、がん、脳卒中、心筋梗塞及び糖尿病並びに6専業のうち、救急医療、災害医療、へき地医療及び感染症・新興感染症医療とし、詳細は基本計画で定めることとする。

（医師確保の方針）

第6条 甲、乙及び丙は、前条に規定する内容を達成するため、九州大学及び山口大学等と十分な連携を行いながら、医師の確保に努める。

（診療の継続）

第7条 乙及び丙は、新病院が開設されるまで地域医療連携推進法人下関医療圏医療連携推進機構を活用する等、両病院の患者等利用者が診療を継続して受けられるように、配慮する。

（職員の雇用）

第8条 第3条に規定する地方独立行政法人は、両病院の職員のうち新病院での勤務を希望する者について、原則として全て新病院の職員として勤務することができるよう必要な措置を講じるものとする。

（法的拘束力）

第9条 甲、乙及び丙は、本合意のうち次条を除き、法的拘束力を有しないものであることを確認する。

（秘密保持）

第10条 甲、乙及び丙は、本合意に至る過程で知り得た相手方の秘密情報を第三者に開示、漏洩せず、本合意の検討以外の目的に使用しないものとする。

（その他）

第11条 本合意書に定めのない事項又は疑義等があるときは、甲乙丙が協議の上、定めるものとする。

本合意書を証するため、本書3通を作成し、甲乙丙それぞれ署名の上、各自1通を保有することとする。

令和8年(2026年)3月4日

甲 下関市  
下関市長

前田晋太郎

乙 独立行政法人  
地域医療機能推進機構

理事長 山本 裕一

丙 地方独立行政法人  
下関市立市民病院

理事長 田中 穰夫

▲基本合意書全文



今後とも、どうぞよろしくお願  
いたします。

また、併せて安心・安全な医療の  
提供を継続して行うよう努めてま  
います。

当院理事長の田中からは「新病院  
完成まで課題は多いが、下関医療セ  
ンターと相談しながら一緒に解決し  
ていく」と挨拶を行いました。

当院としても、下関医療圏の  
急性期医療を引き続き担っていくた  
め、医療機関としての必要な機能の  
充実を図るとともに、これまで担っ  
てきた災害医療、へき地医療や感染  
症に対する役割を果たしてまい  
ります。

当院において

# 病院機能評価更新審査結果のご報告

## 病院機能評価の更新

令和7年8月に受審した病院機能評価の更新審査の結果を10月に受け取りました。S評価(秀でている)が2項目、A評価(適切に行われている)が84項目、B評価(一定の水準に達している)2項目となり、無事に更新することができました。

## 受審結果と今後の課題

病院機能評価の評価項目は「患者の視点に立って、良質な医療の実践」を評価するため、医療情勢の変化に対応し評価項目の見直しが行われています。

今回の受審でのアドバイスを活か

し、医療の質向上に向けて更なる改善活動、職員の意識改革に取り組んでまいります。

## 高評価項目について

病院の取り組みとしてS評価を受けたのは次の2項目です。

①業務の質改善への継続的な取り組み

②多職種共同の診療ケアの実施

①業務の質改善への継続的な取り組みについては、TQM(Total Quality Management:医療では全体で医療・サービスの質を継続的に向上させることを目指す取り組み)大会、RM(Risk Management:医療事故の未然防止、再発防止、被害

の最小化を目指す安全管理体制)大会、関連の国内学会発表が評価項目「患者・家族の意見を活用し、医療サービスの質の向上に向けた活動に取り組んでいる」で高評価を受けました。

②多職種共同の診療ケアの実施については、転倒予防班、多職種カンファレンス、救命センターでのリハビリテーションの早期介入などのチームが実働していることが評価されたものです。

S評価は常に改善し続けていないと認められません。引き続き努力していきたいと思えます。

＜院長＞ たなか まさお 田中 雅夫

## 【連載エッセイ】

## ペースメーカー外来の変更について

まごころの前号でもお知らせさせていただきましたが、毎月第3月曜日のペースメーカー外来を2026年7月より当院診療日の循環器内科外来14時から15時に変更させていただきますことになりました。

現在、月1回のペースメーカー外来では1日に20〜30名の患者さまが来院されるため、ペースメーカーのチェックから診察まで大変お時間をいただいております。

月1回の外来からペースメーカー外来を増やすことで受診患者さまが分散され、待ち時間の短縮が期待されるとともに、ご家族の付き添いや予定調整がしやすくなると考えております。

1日あたり1名から2名で設定しており、心電図検査の後に内科外来で臨床工学技士が対面でペースメーカーのチェックをし、循環器内科の医師が診察を行います。



臨床工学部 主査 はらだ 原田 たくや 拓也

ペースメーカー外来の変更にご理解とご協力をお願いいたします。

現在、該当の患者さまにはペースメーカー外来にご来院される前にご連絡、ご希望を伺ったうえで次回の予約をさせていただいております。

患者さまのご希望の曜日にご来院いただけますので、循環器内科以外の受診に合わせたなどのご要望がございましたら、内科外来までご連絡ください。

変更についてご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、なにとぞご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

内科外来お問い合わせ先  
083-231-4111 (代表)

# 医療安全・感染管理に関する 標語・川柳・ポスター 入賞作品発表

市民病院からの  
お知らせ  
hospital news



## 感染管理部門

## 医療安全部門

- 👑 一般の部・最優秀賞  
AIに 真似のできない  
手指消毒
- 👑 一般の部・特別賞  
赤字だが 水道代は  
気にせずに
- 👑 職員の部・最優秀賞  
アルコール 飾りじゃない  
のよ つかってよ



- 👑 一般の部・最優秀賞  
ACP AIよりも  
話しAI
- 👑 一般の部・特別賞  
大丈夫！ その思い込み  
大丈夫？
- 👑 職員の部・最優秀賞  
大丈夫？ 声かけひとつで  
防ぐ事故



当院では、2025年11月4日～12月5日を医療安全・手指衛生推進月間としており、「患者さまと歩む医療安全・感染管理」をテーマに、医療安全・感染管理に関する標語・川柳・ポスターを募集しました。医療安全 199点・感染管理 171点、合計 370点の応募をいただきました。たくさんのご応募ありがとうございました。投票により入賞作品を決定し、11月26日に表彰式を行いました。入賞作品は当院ホームページに掲載しております。

## 学会受賞のご報告



第29回日本心不全学会学術集会一般口演セッションで、当院看護部の慢性心不全看護認定看護師である内野寿人が、最優秀賞に選出されました。

また、第34回山口県理学療法学術大会において、当院リハビリテーション部理学療法士の月城一志が最優秀演題賞を受賞いたしましたので、ご報告させていただきます。



普段、顔を合わせる機会が少ない登録医の先生方、医療関係者の方々と直接顔を合わせることができ、この機会に、改めて病院の概要、取り組みをご紹介し、終了後は立食形式で、親睦を深める機会となりました。

地域医療連携の会は、当院と連携体制にある登録医の先生方、医療関係者の方々と連携強化を図るための取り組みの一つとして行っております。

2025年11月12日、下関市立市民病院地域医療連携の会を開催しました。

令和7年度地域医療連携の  
会を開催しました



**「がん薬物療法認定看護師」を取得しようと思ったきっかけは何ですか。**

患者さまが、がん薬物療法を継続する中で、患者さまの思いを聴きながらもうまく介入することができずに、後悔が残ったことがあります。その後悔を繰り返さないために、もっと専門的知識を身につけて、患者さまにより深く関わりたいと思ったことがきっかけです。

**認定看護師を取得される際に大変だったことを教えてください。**

どんどん課されていく課題と試験を並行してクリアしていかなければ

ならないことが大変でした。私は新幹線通学だったので、その時間を利用して、何から取り掛かっていくかを整理しながら進めていました。

**「がん薬物療法認定看護師」として「どんなことに取り組みたい」と思っていますか**

がん医療は日々進化しており、複雑化しています。そのため患者さまやご家族が治療の内容に理解が追いつかないことも多いです。患者さまやご家族に、しっかり治療の内容を理解していただき、患者さまご自身で治療の選択ができるようサポートしていきたいと思っています。

**仕事をしていくうえでどんな時にやりがいを感じますか？**

抗がん剤の治療を継続していく患者さまには、副作用を予防するためのセルフケア支援を行っています。患者さまの生活の中でも継続できるような指導を意識し、患者さまから前向きな声が聞かれると、とても嬉しく感じます。

**仕事をしていくうえで大切にしていることは何ですか？**

患者さまの気持ちや思いを見過さないことです。

治療と向き合う患者さまは様々な思いを抱えておられます。この人な話を聞いてもらえると、思ってもらえるように、患者さまの思いに寄り添えるよう、日々の声掛けや傾聴を大切にしています。

**休日の過ごし方や、最近ハマっていることなどを教えてください。**

気の合う友人とカフェ巡りをしたり、きれいな景色を見たりすることです。患者さまとの関わりはシビアな面も多いので、プライベートでは心をリセットできるようにしています。はまっていることは、飼っている犬と猫を愛でることです。

※認定看護師とは、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有する者として、日本看護協会の認定を受けた看護師をいいます。



▲患者さまの思いに寄り添えるよう、日々の声かけや傾聴を大切にしています。

## 看護師 だより Vol.20

手術室副主任  
令和7年度看護部自治会長

おおにし めぐみ  
大西 恵



▲綱引き大会の様子

当院では「会員相互の親睦と福利の向上を図る」目的で看護部自治会があります。自治会では、部署や職種を超えたつながりを大切にし、親睦を深めることを目的に様々なイベントを企画・運営しています。感染症の影響で数年は活動を自粛していましたが、新人歓迎会などのイベントを再開し、盛り上がりを取り戻しつつあります。

今年度は心身のリフレッシュを目的とした体操教室、綱引き大会ではチームで力を合わせる楽しさを共有してもらうことなど、誰もが気軽に参加できる内容を心がけています。

日常生活とは異なる交流を通して、コミュニケーションが深まり働きやすい職場づくりにもつながっています。今後も笑顔あふれる活動を継続していきます。

# 地域の絆

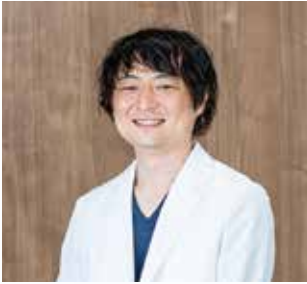
当院と連携している医療機関等を紹介します。  
登録医の先生と当院とは、患者さまの病状に合わせた治療が行えるよう、密接な関係をつくっています。

下関市立市民病院 地域連携室

電話：083-224-3860 FAX：083-224-3861

## 腎泌尿器科はらクリニック

院長 はら こうじ 原 宏二 先生



当院は1995年5月父が川中豊町に開院したはら皮膚科を継承する形で、2025年5月腎泌尿器科はらクリニックとして再スタートしました。愛媛大学卒業後泌尿器科の関連病院で10年、その後山口大学泌尿器科に入局し地元である下関の下関市立市民病院、下関医療センターで4年勤務しました。これまでは1-2年毎の異動があり、様々の地でたくさんの指導医の考えに触れ、臨床経験を積めた反面、何年にも渡って一人の患者様を診ていくという経験は乏しかったように思います。

今開業医となり、今後何年にも渡り一人の患者様に関われる立場になったことに喜びを感じるとともに、大きな責任も感じております。例えば泌尿器科の癌は末期になるまで症状の出にくいものが多く、早期発見に関して開業医にかかる役割、責任は大変大きいものと考えております。

当院では、入院や麻酔管理の必要な手術以外の処置、手術は全て対応可能です。日常の些細なことから相談しにくいことまで、広く、深く対応していきたいと考えております。患者個人、家族、さらには下関市に対して貢献していける様、今後とも尽力していく所存です。どうぞ宜しくお願い致します。

〒751-0853 下関市川中豊町7丁目2-16 TEL：083-255-4112 <泌尿器科・腎臓内科・皮膚科>

泌尿器科・腎臓内科 担当医 原 宏二 月・火・金：9:00～12:30、14:00～18:00 水：14:00～18:00 木・土：9:00～12:30  
皮膚科 担当医 原 曜子 月・金：9:00～12:30、14:00～18:00 火・水・土 9:00～12:30 (土曜診療は第1,3,5週目のみ)

## 光風園病院

院長 きのした ゆうすけ 木下 祐介 先生

医療法人愛の会は、2027年3月に創立100周年を迎えます。長きにわたり地域の皆様に支えていただいたおかげでこの節目を迎えられますことを、心より御礼申し上げます。

本年4月には新たに2名の医師が加わり、常勤医11名体制となります。急性期治療後のリハビリはもちろん、クリニックや介護施設からの肺炎治療や機能回復といったニーズに応えるために体制を強化しました。

リハビリテーション部門は2024年度より広島大学病院の三上幸夫教授に診療とリハビリスタッフの指導を仰いでおります。最新の知見を診療に反映させ、リハビリテーションの更なる質の向上を図ってまいります。

地域連携部門はスタッフを増員し、入院の受け入れをより円滑に進められる体制を整えました。

今後も下関市立市民病院や地域の先生方と協力し、「地域で治し支える医療」の提供に努めてまいります。何卒宜しくお願い申し上げます。

〒752-0928 下関市長府才川2-21-2 TEL：083-248-0254 <内科、リハビリテーション科>

当院では外来診療を行っておりません。電話相談の受付時間は平日9:00～17:00となっております。



# 外来診療のご案内

2026年 4月1日現在 (※)…非常勤医師

診療科	曜日	月	火	水	木	金
総合診療科		中塚 昭男	中塚 昭男	中塚 昭男	中塚 昭男	中塚 昭男
内科・消化器内科		保利 喜史(※)		森下 寿文(午前)		森下 寿文(午前)
内科・呼吸器内科		真鍋 大樹(※)(午前)				鳥井 亮(※)(午前)
内科・循環器内科		金子 武生/野田 裕剛(※)	金子 武生	安田 潮人/野崎 俊哉	辛島 詠士	辛島 詠士/天野 寛世
禁煙外来(午前・予約制)						有馬 岳史(※)
内科・腎臓内科			松尾 建人 盛田 大輔(※)(午前)	濱小路 友哉(※)(午前)	坂井 尚二(※) 馬場 怜央	
内科・血液内科			久保 安孝		久保 安孝	
内科 リウマチ膠原病内科		大田 俊一郎 久志本 和郎 (地域連携室 紹介のみ)	大田 俊一郎 (地域連携室 紹介のみ)	大田 俊一郎 久志本 和郎	木村 光一(※) 4月のみ(第1・第2・第5) 5月より(第1・第3・第5)	大田 俊一郎 久志本 和郎
糖尿病内分泌代謝内科		山田 健太郎	小丸 倫子	吉森 章人	山田 健太郎	小丸 倫子
感染症外来			白石 研一郎(午前)			
神経内科(午前中・予約制)				本田 真也(※)		
精神科				朴 成祐(※)午前		
心臓血管外科			安恒 亨		上野 安孝/栗栖 和宏	
外科	午前	萱島 理/宮竹 英志 中原 千尋	松下 章次郎 中原 千尋	大谷 和広 宮竹 英志	萱島 理	松下 章次郎 大谷 和広
	午後	院長外来(院外紹介) 萱島 理/宮竹 英志	乳腺外来 松下 章次郎	大谷 和広	ストーマ外来(第2・第4)	乳腺外来 松下 章次郎
		乳腺外来(第3) 自見 政一郎(※)	中原 千尋		萱島 理	大谷 和広
呼吸器・抗酸菌症外来(呼吸器外科)					吉田 順一	
呼吸器腫瘍センター(呼吸器外科)			井上 政昭		井上 政昭 水内 寛	名部 裕介
脳神経外科		尾中 貞夫(午前)	前原 直喜(午前)	尾中 貞夫(午前) 前原 直喜(第3午前)		尾中 貞夫(午前) 前原 直喜(午前)
整形外科	再診	白崎 圭伍 鮎川 周平/小畑 天義	石津 研弥 渡邊 哲也/兼田 慎太郎	飯田 圭一郎 石津 研弥/末原 由悠	飯田 圭一郎 白崎 圭伍(午前)	渡邊 哲也(午後) 鮎川 周平/久我 茂誠
	新患	鮎川 周平 白崎 圭伍/末原 由悠	渡邊 哲也 石津 研弥/小畑 天義	飯田 圭一郎 石津 研弥/久我 茂誠	飯田 圭一郎 白崎 圭伍/兼田 慎太郎	鮎川 周平/兼田 慎太郎(午前) 小畑 天義(午後)
泌尿科	一診(初診)	合田 彩也香		平儀野 剛	小川 将司(※)	合田 彩也香
	二診(予約のみ)	平儀野 剛	吉弘 悟	吉弘 悟	吉弘 悟	吉弘 悟
眼科		村田 晃彦	村田 晃彦	村田 晃彦	村田 晃彦 ロービジョン外来(第4午後)	村田 晃彦
放射線診断科			山砥 茂也			
放射線治療科		有賀 美佐子	有賀 美佐子	有賀 美佐子	有賀 美佐子(午前) 上田 和志(※)(午後)	有賀 美佐子
小児外科				九大派遣医師(※)(午前)	中村 晶哉(※)(第2・第4午後)	
産婦人科	午前(一般外来)	前田 博敬	前田 博敬	前田 博敬	前田 博敬	
	午後(更年期外来)		前田 博敬(予約のみ)			
疼痛外来 ペインクリニック内科	午前		藤原 義樹(※)			藤原 義樹(※)
	午後		藤原 義樹(※) 午後の外来は13~14時受付			門脇 史宜(※)
皮膚科		鬼塚 真美(午前)	鬼塚 真美(午前)		鬼塚 真美(午前)	鬼塚 真美(午前)
耳鼻咽喉科		平 俊明 北川 理奈	平 俊明 九大派遣医師(※)	平 俊明 北川 理奈	平 俊明 北川 理奈	平 俊明 北川 理奈
歯科・歯科口腔外科		上原 雅隆 西川 健	上原 雅隆/西川 健 長畑 佐和子	上原 雅隆 西川 健	上原 雅隆/西川 健 長畑 佐和子	上原 雅隆 西川 健
緩和ケア外来					宮竹 英志(午前)(予約制)	
救急科(午前・午後)		中原 千尋/尾中 貞夫 中塚 昭男	尾中 貞夫	中原 千尋	中原 千尋/尾中 貞夫 中塚 昭男	中原 千尋 中塚 昭男

- ◆糖尿病教室(要予約:内科外来にお問い合わせください。)
- ◆ペースメーカー外来(内科外来:要予約) 毎月第3月曜日13:00~15:00(第3月曜日が休日の場合は第4月曜日)
- ◆ロービジョン外来(眼科外来:要予約) 視覚に障害があるため生活に何らかの支障を来している方への支援
- ◆整形外科は再診・新患ともに完全予約制です。急患はご相談ください。

病院ホームページ  
こちらから



地方独立行政法人  
**下関市立市民病院**  
SHIMONOSEKI CITY HOSPITAL

〒750-8520 下関市向洋町一丁目13番1号  
TEL:083-231-4111(代表) FAX:083-224-3838  
ホームページアドレス <https://shimonosekicity-hosp.jp/>  
地域連携室(紹介予約) 専用TEL:083-224-3860 専用FAX:083-224-3861



禁煙外来を行っています。当院は敷地内禁煙です。ご協力をお願いします。